

## <PGI 学術講演抄録> ※無断転載を禁じます

### 歯の保存と歯の移植

東京都千代田区開業

塚原 宏泰

患者の健康に食事が大きく関わっていることは国民もが知るところであります。歯の存在は欠かせないものですが、口腔予防の重要性が問われてかなりの時間が経過し、またインプラントのような代替治療も確立してきました。その一方で、予防はしっかりするけど治療はいまいちであったり、インプラント治療は上手に行いますがすぐ歯を抜いてしまうなど、アンバランスな面もしばしば感じることがあります。

私の臨床では是が非でも歯を抜かないんだ！ということばかりに固執はしていませんが、今一度歯を保存する技術について述べさせて頂き、引き続き歯の移植について症例を供覧させて頂きたいと思います。

歯の移植（自家歯牙移植）は 1970 年代以降様々な研究や臨床が行われており、長期経過症例も報告されています。歯の移植を行うことは歯科医師にとって患者さんにとってどんなメリットがあるのでしょうか？ 本日の短い時間の中で治療の選択肢のヒントにでもなれば幸いです。

#### 略歴

1989 年 日本大学松戸歯学部卒業  
1989～98 年 東京医科歯科大学第 2 口腔外科勤務  
1998 年～ 東京都千代田区にて開業  
2004 年～ 東京医科歯科大学顎口腔外科客員臨床教授  
2012 年～ 日本大学松戸歯学部顎顔面外科兼任講師  
神奈川歯科大学補綴科非常勤講師

#### 認定医など

1997 年 日本口腔外科学会専門医  
歯学博士  
2002 年 日本口腔外科学会指導医  
日本顎関節学会専門医・指導医  
2009 年 日本顎顔面インプラント学会指導医